



2023年10月30日

各位

会社名 サンワテクノス株式会社  
代表者名 取締役社長 松尾 晶広  
(コード番号 8137 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員管理本部長 的場 孝成  
(TEL. 03-5202-4011)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2023年10月30日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針を下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状評価

当社は2025年3月期を最終年度とする中期経営計画(SNS2024)を策定し、初年度の2023年3月期は、売上高および各段階利益が過去最高を更新し、最終年度目標を上回る連結営業利益76億円(ROE13.3%)を達成いたしました。しかしPBR(株価純資産倍率)は依然1.0倍を下回っており、良好な収益性に対し、株価は割安な水準で推移していると評価しております。

- ・当社の持続的成長に向けた事業戦略・成長戦略が、投資家の皆様から十分な理解を得られていないこと
  - ・株式の流動性が低いこと(2022年度平均:40,308株/日)
  - ・時価総額が小さく機関投資家の投資対象になりにくいこと
- などが株価低迷の要因と認識しております。

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	
売上高	百万円	145,410	137,943	134,769	154,414	181,013
営業利益	百万円	3,410	1,846	2,152	4,804	7,630
経常利益	百万円	3,627	2,144	2,567	5,195	7,675
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,628	1,341	1,786	3,577	5,493
ROE	%	8.8	4.2	5.4	9.8	13.3
1株当たり当期純利益	円	164.08	84.11	113.23	228.33	355.08
1株当たり純資産	円	1,991.19	2,010.98	2,220.42	2,462.10	2,873.36
期末株価	円	862	815	1,081	1,348	1,943
PBR	倍	0.43	0.41	0.49	0.55	0.68

※株価等のデータは各年度最終取引日の終値をもとに算出しております。

## 2. 改善に向けた方針

中期経営計画（SNS2024）の各施策実行による事業成長と収益性の向上に取り組み、KGIである連結営業利益の最大化を通じて、高水準のROEの維持を目指すとともに、株主還元の充実、IR・SR活動の拡充により、PBR1.0倍超を目指します。

（連結営業利益目標 2025年3月期：70億円、2028年3月期：100億円）

施策①：中期経営計画（SNS2024）の着実な実行による収益性の向上

- ・顧客セグメント戦略と拠点営業戦略の融合による収益性の向上
- ・「イノベーション本部」を設置し以下の取り組みを実施
  - 顧客課題の解決を目指した当社独自の技術サポートとソリューション開発に投資
  - 成長事業のビジネスモデル確立と新規ビジネスを創出
  - 外部成長の手段としてのアライアンス等の実施
- ・自動化・省人化ニーズを捉えるためのロボティクス営業の強化
- ・脱炭素化に向けた環境対応への投資機会の獲得
- ・米中デカップリングサプライチェーンからの脱中国対応

施策②：株主還元の充実

- ・持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性ととのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行うことを基本方針とする
- ・業績連動利益配分の指標として連結配当性向25～35%を目標として実施
- ・自己株式の取得についても、株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて実施

施策③：IR・SR活動の拡充

- ・活動拡充化のためのIR専任部署「広報・IR室」を設置（2023年4月）
- ・取締役、IR担当役員による個人投資家向け会社説明会、機関投資家向け決算説明会の開催、メディア（IRラジオ、専門紙）を通しての定期的な情報発信
- ・株主・投資家との間の建設的な対話への取組（IR・SRミーティング等）を活性化
- ・IR・SR活動で寄せられた意見等を取締役会等で共有し、経営戦略のレビュー等に活用

以上

# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

証券コード 8137

サンワテクノス株式会社

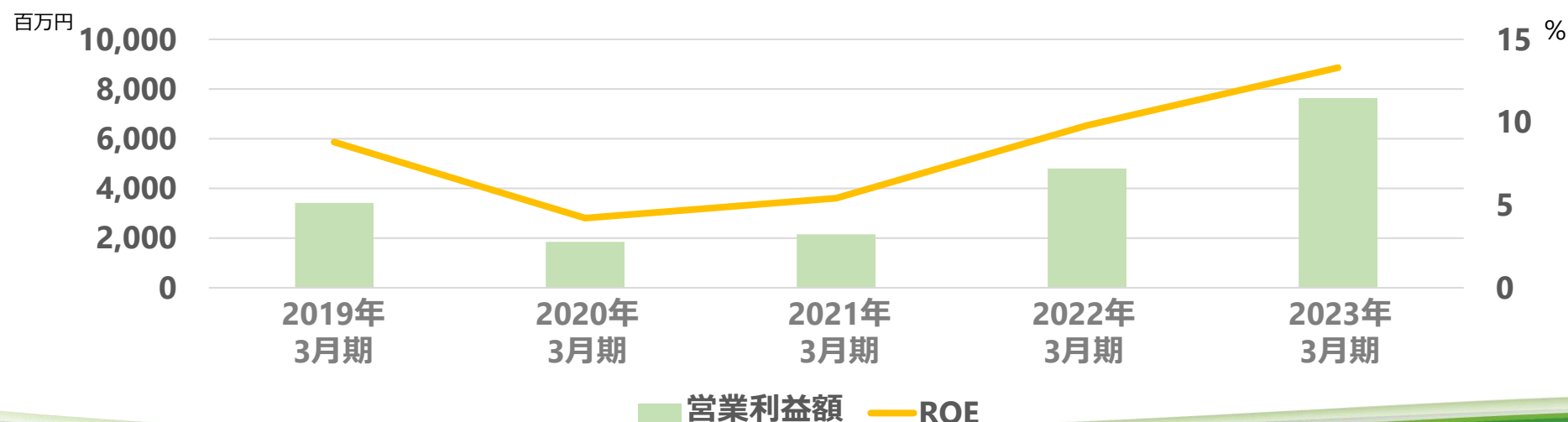
2023年10月30日

<https://www.sunwa.co.jp/>

# 現状評価

- 当社の持続的成長に向けた事業戦略・成長戦略が投資家の皆様から十分な理解を得られていない
- 株式の流動性が低い（2022年度平均：40,308株/日）
- 時価総額が小さく機関投資家の投資対象になりにくい

		2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
営業利益額	百万円	3,410	1,846	2,152	4,804	7,630
ROE	%	8.8	4.2	5.4	9.8	13.3
1株当たり当期純利益	円	164.08	84.11	113.23	228.33	355.08
1株当たり純資産	円	1,991.19	2,010.98	2,220.42	2,462.10	2,873.36
期末株価	円	862	815	1,081	1,348	1,943
PBR	倍	0.43	0.41	0.49	0.55	0.68



## KGIである連結営業利益の最大化を通じて、高水準のROEの維持を目指します

(連結営業利益目標 2025年3月期：70億円、2028年3月期：100億円)

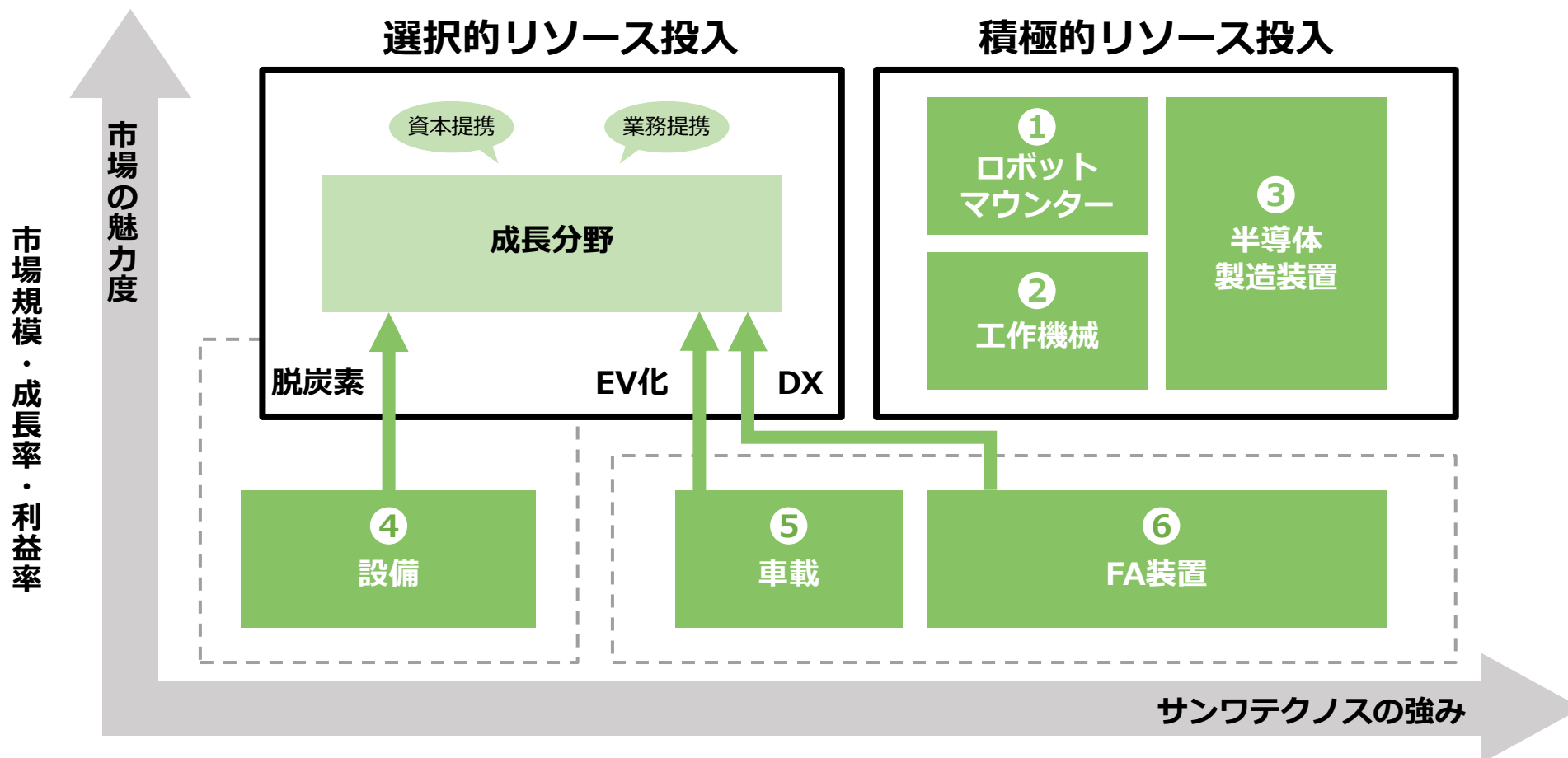
### 施策①

## 中期経営計画（SNS2024）の着実な実行による収益性の向上

1. 顧客セグメント戦略と拠点営業戦略の融合による収益性の向上
2. 「イノベーション本部」を設置し以下の取り組みを実施
  - 顧客課題の解決を目指した当社独自の技術サポートとソリューション開発に投資
  - 成長事業のビジネスモデル確立と新規ビジネスを創出
  - 外部成長の手段としてのアライアンス等の実施
3. 自動化・省人化ニーズを捉えるためのロボティクス営業の強化
4. 脱炭素化に向けた環境対応への投資機会の獲得
5. 米中デカップリング サプライチェーンからの脱中国対応

顧客セグメント戦略と拠点営業戦略の融合による収益力の強化

リソースを投入する顧客セグメントの特定  
各セグメントをポジショニングしポートフォリオ上の位置付けで  
戦略的にリソースの投入施策を意思決定



顧客セグメント戦略と拠点営業戦略の融合による収益力の強化

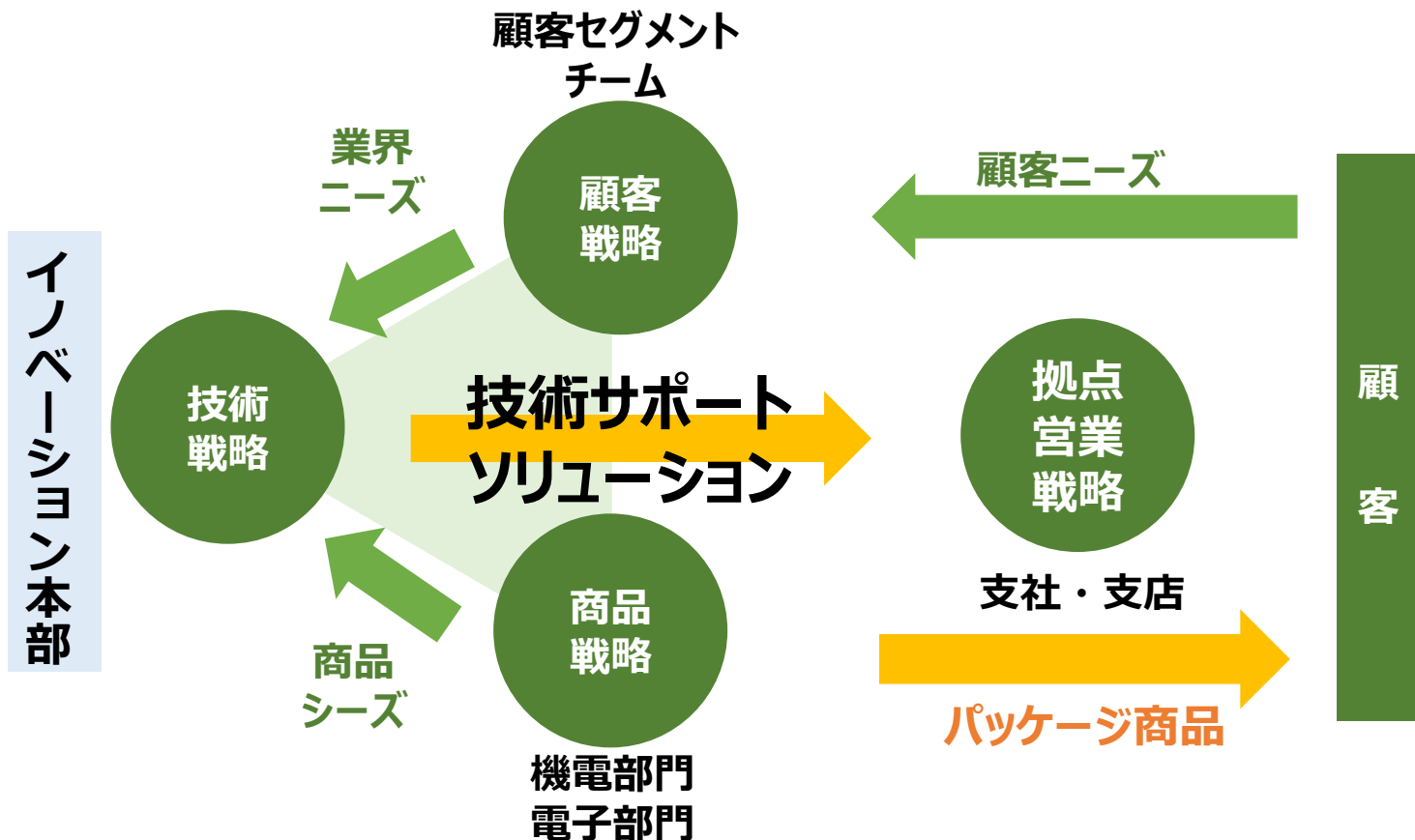
顧客セグメント別 売上総利益成長率実績および今年度の見込み

顧客セグメント	'21→'24 目標成長率 (3年平均)	'21年度→'22年度 利益成長率		今年度の 当社の状況 (5月決算発表時)	今年度の 当社の状況 (現時点)
		実績成長率	進捗判断		
半導体 製造装置	15%以上	24.8%	◎ 予定より進捗		
ロボット マウンター	10%以上	0.4%	▲ 予定より遅れ		
工作機械	10%以上	15.0%	○ 予定通り		
FA装置	10%以上	31.0%	◎ 予定より進捗		
車載	10%以上	14.5%	○ 予定通り		
設備	10%以上	▲ 10.5%	▲ 予定より遅れ		

中期経営計画の利益成長率の目標を概ねクリア

「イノベーション本部」設置による取り組み

- 顧客課題の解決を目指した当社独自の技術サポートとソリューション開発に投資
- 成長事業のビジネスモデル確立と新規ビジネスを創出
- 外部成長の手段としてのアライアンス等の実施





● 外部成長の手段としてのアライアンス等の実施

株式会社 エムテック との業務提携合意に関するお知らせ

株式会社エムテック（福岡県北九州市）とサンワテクノス株式会社は、**2023年10月30日に業務提携契約を締結いたしました。**

株式会社エムテックの技術開発力とサンワテクノスのマーケティング力とで相乗効果を創出し、顧客ニーズにマッチした技術ソリューションの提供、相互の企業価値の向上を目指します。

産業機械分野における技術ソリューションにおける協力推進

両社協業により、ロボットソリューションパッケージ『3D Connect シリーズ』を開発、発売いたします。



SUNWA  
サンワテクノス株式会社

マーケティング・ソリューション営業  
商品販売・その他関連業務




Multi-Technology  
MTEC 株式会社エムテック

商品開発・ソリューション開発  
技術的アドバイス・その他関連業務

提携による効果

- ① 新たな商品・ソリューションの開発
- ② 新たな市場・顧客の開拓
- ③ リソースや経費の共用によるコスト削減

\*株式会社エムテックの特長

「ローテクを駆使したハイテクへの挑戦」を企業理念とし、モーション技術・制御技術・プロセス技術・ソフトカスタマイズ技術等のロボットシステム技術を高度に複合化ができる、システム開発と商品化を行う企業です。

● 外部成長の手段としてのアライアンス等の実施

<10月30日付 ニュースリリース>

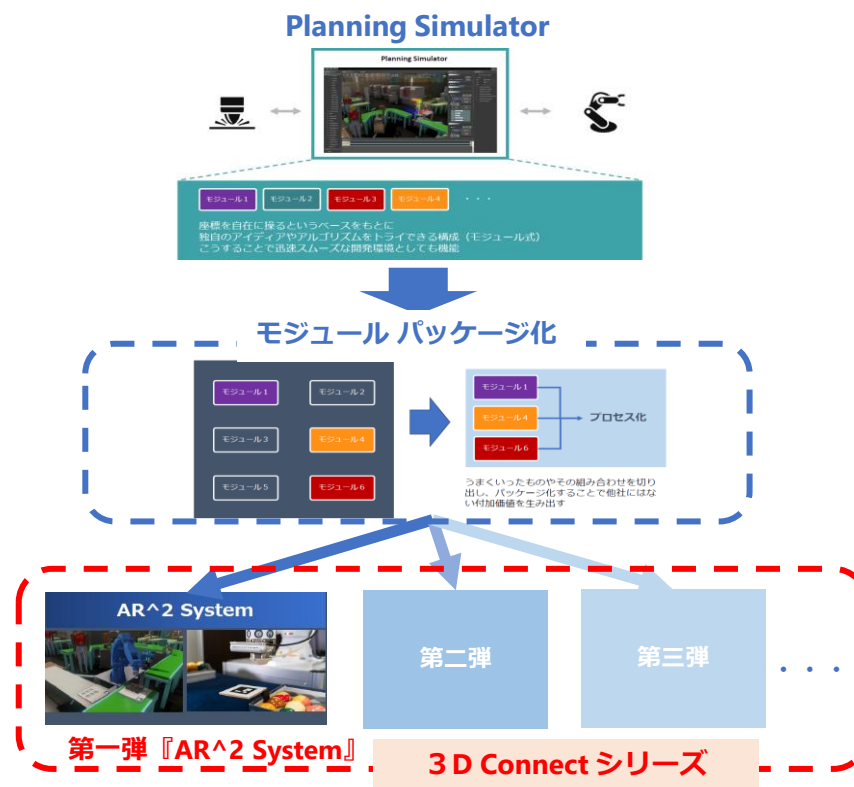
ロボットソリューションパッケージ『3D Connect シリーズ』  
第一弾『AR^2 System』を発売

サンワテクノス株式会社は株式会社エムテック（福岡県北九州市）と、仮想空間を活用したデジタルマニュファクチャリングを実現する『3D Connect シリーズ』を開発し、その第一弾として、ARマーカーを利用したロボットソリューションパッケージ『AR^2 System<エーアール・ツー・システム>』を発売いたします。

『3D Connect シリーズ』商品コンセプト

三次元CADとロボットなどのモーションコントローラーをリアルタイムに連携操作させるプロセスシミュレーター『Planning Simulator』を使って、設計から動作に至る各種機能を持ったモジュールを組合せたソリューションパッケージです。

これにより、ロボット動作における現実と仮想空間の座標の齟齬が補正され、ものづくりにおけるデジタルマニュファクチャリングが促進されます。



自動化・省人化ニーズを捉えるためのロボティクス営業の強化

機電部門主導による  
高収益ロボット販売体制の構築

各地区にロボット拡販専任者を配置し  
商談の成約率向上と利益の拡大を図る

イノベーション本部・  
Robot Solutionチームとの連携

ロボット位置補正 & 動作指示機能パッ  
ッケージの販売を強化し、利益拡大を図  
る

成長市場への高機能ロボットの拡販

電気自動車（EV）、リチウムイオン電  
池、食品関連、物流関連

自動化ニーズに対する拡販

- ・ 人協働ロボット  
（安川電機・デンソーウェーブ）
- ・ 各種AGV（AMR・GRID・SLAM・・・）

## 脱炭素化に向けた環境対応への投資機会の獲得

環境にやさしい商品の販売・発掘で環境に貢献します



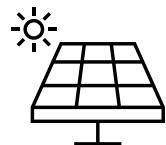
### EMS(エネルギー管理システム)に特化した拡販をプロジェクト化し始動 (2023.4~)

- ✓ メーカーとの協業による独自EMSをシステム提案するもの
- ✓ リチウムイオン電池の製造用設備ラインの獲得などの商談発掘が実現



### カーボンニュートラルに貢献できる製品の拡販

- ✓ 産業向け、省エネ設備投入促進
- ✓ カーボンフィットプリント管理ツールの販売



### エネルギー(創エネ・蓄エネ・省エネ)に関わる商談の推進

- ✓ 太陽光発電、小型風力発電、水素発電
- ✓ 二次電池、充電装置、LED化工事

### サマーキャンペーン2023「脱炭素のビジネスモデル(創エネ、蓄エネ、省エネ)」実施

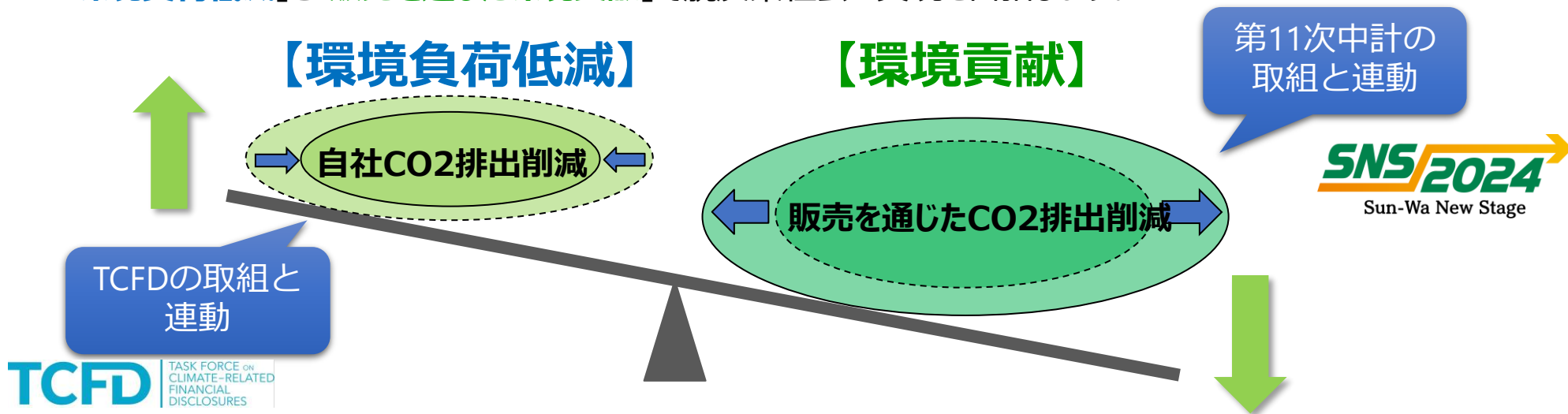
- ✓ 国内78件 関連会社48件のエントリー

脱炭素化に向けた環境対応への投資機会の獲得

脱炭素社会へのアプローチ (SDA) ※ Sunwa Decarbonized society Approach

～2050年に自社CO2排出量の100倍以上の環境貢献～

当社は、「人を創り、会社を興し、社会に尽くす」の社是の元、環境問題への積極的な取り組みを継続しています。地球温暖化に関しては、自然環境や社会に大きな影響を与える世界の共通課題として認識しており、「環境負荷低減」と「販売を通じた環境貢献」で脱炭素社会の実現を目指します。



	CO2排出量	販売を通じたCO2排出削減量
2020	約37万t - CO2	約15万t-CO2
2050	約37万t - CO2	100倍以上の環境貢献



## 米中デカップリング サプライチェーンからの脱中国対応

**中国市場の成長への投資は状況を注視しながら継続し、  
様々なリスクに対し臨機応変に対応**

### ① 生産拠点の移転・自国回帰への対応

- 工場の移転に伴う設備導入・新たな部品物流への対応
- グローバルSCMソリューションの提案
- 東南アジア・インド地域の体制強化

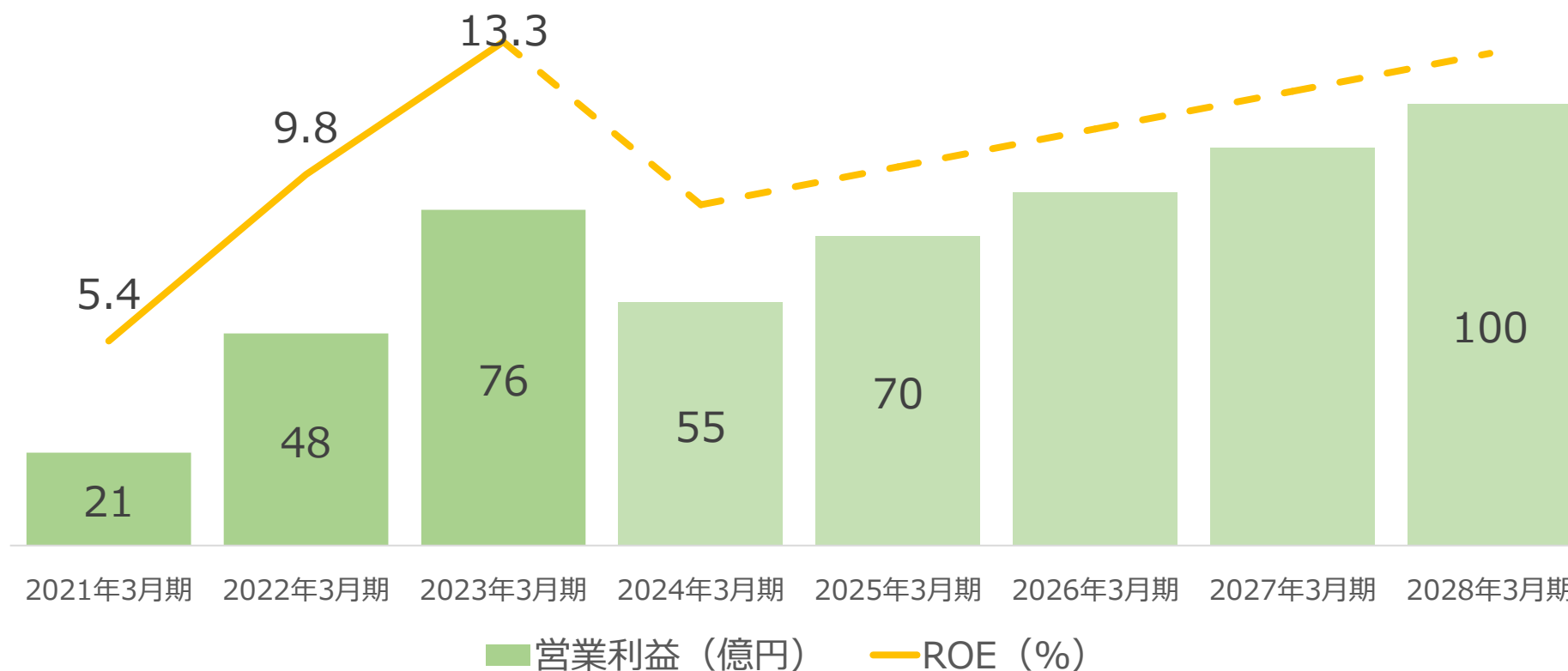
### ② 中国における市場情報の収集活動強化と対応

- 製造業PMI・取引先動向・経済動向等の注視
  - 製品の地産地消化（国産化）の加速への対応
- 臨機応変な拠点展開

## 施策①

KGIである連結営業利益の最大化を通じて、**高水準のROEの維持**を目指します

(連結営業利益目標 2025年3月期：70億円、2028年3月期：100億円)



## 施策② 株主還元の充実

- 持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行うことを基本方針とする
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向 25～35%を目標として実施
- 自己株式の取得についても、株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて実施

## 施策③ IR・SR活動の拡充

- 活動拡充化のためのIR専任部署「広報・IR室」を設置（2023年4月）
- 取締役、IR担当役員による個人投資家向け会社説明会、機関投資家向け決算説明会の開催、メディア（IRラジオ、専門紙）を通しての定期的な情報発信
- 株主・投資家との間の建設的な対話への取組（IR・SRミーティング等）を活性化
- IR・SR活動で寄せられた意見等を取締役会等で共有し、経営戦略のレビュー等に活用



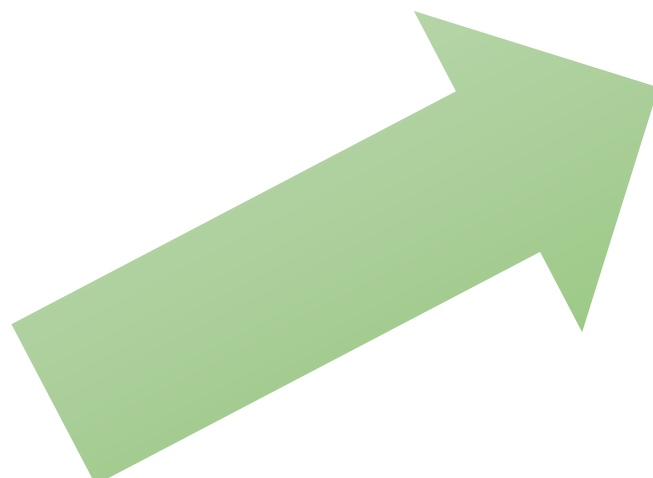
**Sun-Wa Vision 2030**  
世界中の技術をつなぎ 新たな価値を創造し  
豊かな社会づくりを支える

PBR1倍超の実現

↑  
ROEの高水準での安定

↑  
営業利益の最大化

↑  
中期経営計画の達成

- 
- ① 中期経営計画（SNS2024）の着実な実行による収益性の向上
  - ② 株主還元の充実
  - ③ IR・SR活動の拡充